

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年3月1日(2023.3.1)

【公開番号】特開2023-16112(P2023-16112A)

【公開日】令和5年2月2日(2023.2.2)

【年通号数】公開公報(特許)2023-021

【出願番号】特願2021-120181(P2021-120181)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 2 D

A 6 3 F 5/04 6 0 5 D

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和5年2月20日(2023.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定のエラー状態が解除可能なリセットスイッチを備え、

所定のエラー状態ではなく、且つベット待ちの状況にて、リセットスイッチが押下され、リセットスイッチの当該押下が継続されているときに所定のエラーが発生すると所定のエラー状態となり、所定のエラー状態にてリセットスイッチの当該押下が継続されても所定のエラー状態は解除されないよう構成されており、

ベット待ちの状況にて所定のエラーが発生して所定のエラー状態となり、所定のエラー状態にて電源断が発生し、電源断中にリセットスイッチが押下され、リセットスイッチの当該押下が継続されているときに電源投入されたときは、電源投入後の所定タイミングで所定のエラー状態が解除可能であるよう構成されている

遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

40

本態様に係る遊技機は、

所定のエラー状態が解除可能なリセットスイッチを備え、

所定のエラー状態ではなく、且つベット待ちの状況にて、リセットスイッチが押下され、リセットスイッチの当該押下が継続されているときに所定のエラーが発生すると所定のエラー状態となり、所定のエラー状態にてリセットスイッチの当該押下が継続されても所定のエラー状態は解除されないよう構成されており、

ベット待ちの状況にて所定のエラーが発生して所定のエラー状態となり、所定のエラー状態にて電源断が発生し、電源断中にリセットスイッチが押下され、リセットスイッチの当

50

該押下が継続されているときに電源投入されたときは、電源投入後の所定タイミングで所定のエラー状態が解除可能であるよう構成されている遊技機である。

<付記>

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、

精算スイッチと、
設定キースイッチと、
内部抽せん手段と
を備え、

ベット数またはクレジット数の少なくとも一方が「1」以上である所定の状況にて、精算スイッチが操作された場合には、精算処理を実行し得るよう構成されており、

設定キースイッチが新たにオンとなった場合には、設定確認モードとなり得るよう構成されており、

精算処理の実行中に所定のエラー状態となった場合には、精算処理を中断するよう構成されており、

精算処理の実行中に設定キースイッチが新たにオンとなった場合には、精算処理を中断せずに継続して実行し、精算処理の実行が終了した後に、設定確認モードとなるよう構成されている

ことを特徴とする遊技機である。

10

20

30

40

50